

Letter from Samoa

サモア通信 12th
Nov.2018
豊橋南高校
青年海外協力隊
松川博明

Talofa!! 11月になり、こちらサモアでは雨季に突入して、身も心もじめじめした生活を送っております。さて、今回のサモア通信では「サモアの言語」について綴りたいと思います。

○サモアの公用語

サモアには「サモア語」と「英語」2つの公用語が存在しますが、サモア人同士の日常生活では基本的に「サモア語」しか使われていません。首都やホテルなど、外国人が立ち寄る場所に関しては英語が通じます。むしろ首都で働くためには英語が堪能でないと働くことは難しいように感じます。ちなみに自分のホームステイ先は10人中3人しか英語でのやりとりはできないため、家族とはサモア語でやりとりをして生活しています。

○サモアの英語レベル

サモアでは小学校1年生から英語学習がスタートします。しかし、教科書は存在しないため、圧倒的にSpeakingに偏った学習スタイルです。その結果、中高生の中でも英語が得意な生徒の中には、文法の知識は乏しいものの、とても流暢に英語を話す生徒もいます。ただ、現状としては中学生段階で簡単な英会話ができる生徒は3割程度、高校生段階でも6割程度な感触です。最高学年まで修学している生徒の多くは英語のやりとりが得意のように感じます。

○サモア語ってどんな言語？

「Talofa. O lo' u igoa o Hiro. O a' u o le faia' oga. Na ou sau i Samoa tausaga te' a.」
こんな言語です。ご覧の通りアルファベットが使われています。そして発音も全てローマ字読みな

ので日本人には馴染みやすい気はします。しかし、文法や単語に関しては全く英語と違うので、ゼロから新たな言語を学習している感覚です。ただ、新しい言語を学び、コミュニケーションをとることは本当に面白いです。自分がサモア語を習得することで、サモア人と意思疎通ができます。やはり、言語は勉強するものではなく、コミュニケーションツールであることを改めて感じています。

Talofa(タロファ)	こんにちは(丁寧語)
Malo(マロ)	こんにちは(カジュアル)
O a mai oe?(オアマイオエ)	元気ですか？
Manuia. Fa' afetai. (マヌイア ファアフエタイ)	元気です。 ありがとう。
Fa soifua. (ファーソイファ)	さようなら。

○言葉以上に大切なもの

現在サモア語7割・英語3割くらいを使いながら楽しく生活していますが、「サモア語で話した方が圧倒的に親密になれる」と感じます。やはり、サモアで生活をしている以上は彼らが大切にしている言語を尊重し、その言語で寄り添うことが大切なのかと思います。しかし言葉以上に「行動や態度」の方がさらに大切です。言葉でうまく伝わらなくても、行動と態度で相手は理解してくれます。さらに、どのような人間かも認識してくれます。これからも「受け入れてもらっている」という感謝の気持ちを、言葉だけではなく、行動と態度で伝え続ける生活を送りたいと思います。みなさんも身近な人に、言葉だけではなく、行動と態度で感謝の気持ちを伝える姿勢を大切にしたいです。それでは Fa soifua.